

いくだみ

県立長崎図書館だより

No.179

2016年 7 月

第37回 県立長崎図書館講座

講演「一吉村昭歴史小説の世界ー長崎を舞台とした小説をよむ」を開催しました。



県立長崎図書館では、県民の皆様には本県の文化について学習していただけるように、年3回の図書館講座を開催しています。本年度第1回講座は、5月21日(土)に、長崎県長崎学アドバイザーの本馬貞夫氏を講師としてお招きし、作家吉村昭についてたくさんのエピソードを交えてお話していただきました。

講演は大盛況の中、アットホームな雰囲気でした。史実と証言の徹底的な取材、検証、調査を基に、数々の歴史小説を世に送り出してきた吉村昭。その人柄を、酒の席での話を交えて熱く語る本馬氏の姿からは、吉村昭に対する尊敬の念がうかがえました。「吉村昭という人物をひと

言で表すと、それは『律儀』だと思います。」と語る本馬氏がそのエピソードとして、「吉村先生から雨の日に届く手紙には、(雨で字が滲まないように) 蝋が塗ってある。」というお話には、参加された方々も大変驚いたようでした。講演後の質問にも、ユーモアを交えてわかりやすく回答いただき、時間はあっという間に過ぎました。

受講者からは、「吉村昭という人の魅力をあますところなく教えていただき、また、ご夫妻の秘話等貴重なお話もうかがえて楽しかったです。」「吉村昭の小説大好きの私にとって、感激するような講演でした。」等の感想が寄せられ大変好評でした。



講師の本馬貞夫氏

もくじ

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| ◎ 第37回県立長崎図書館講座…………… P 1 | ◎ 県内図書館散歩…………… P 4 |
| ◎ 長崎ゆかりの文学展第1回・第2回企画展…………… P 2 | ◎ 障害者ふれあいブックメールサービス…………… P 4 |
| ◎ 文化講演会…………… P 2 | ◎ 資料紹介…………… P 5 |
| ◎ 館長就任あいさつ…………… P 3 | ◎ 県立長崎図書館アルバム…………… P 6 |
| ◎ 催し物のご案内…………… P 3 | |

長崎ゆかりの文学展

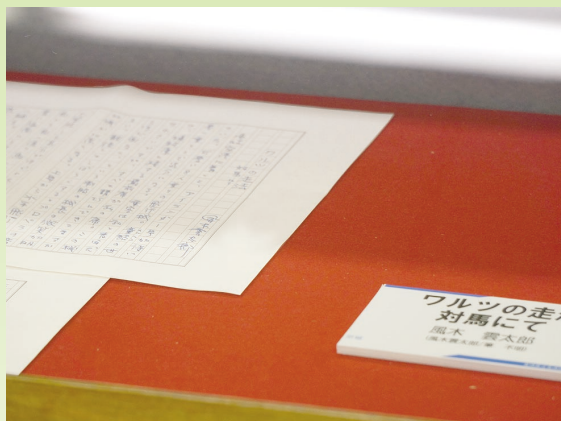
県立長崎図書館では、本県にゆかりのある作家や文学作品を中心に、「長崎ゆかりの文学展」として、年間4回の企画展と常設展を開催しています。

第1回企画展「長崎の島の物語」

好評のうちに終了

今年度第1回企画展として、4階郷土資料展示室にて、4月26日(火)から6月26日(日)まで、「長崎の島の物語」を開催しました。平成17年に始まった企画展は、今年で12年目を迎え、42回を数えます。今回のように「長崎の島」に焦点を当てた企画展は、初めてのことです。

長崎県には有人島72、無人島522の合計594の島があります。これらの島々にはそれぞれ独特の文化が育まれ、それを舞台とした多くの作品が発表されました。その作品を古くは万葉集から島ごとに展示しました。来場された方々は、この作品の舞台が長崎の島だとは知らなかったなど新たな発見をされたようでした。



第2回企画展「原爆文学展」開催中



4階郷土資料展示室にて「原爆文学展」を開催中です。今年で長崎に原爆が投下されてから71年が経過します。原爆投下から今日に至るまで、長崎ゆかりの文学者や被爆者の言葉の力によって「長崎の原爆文学」が生み出されてきました。今回の企画展では、当館が所蔵する福田須磨子、おおえひで、風木雲太郎、松尾あつゆき等の自筆原稿や色紙を中心に展示しています。この機会にぜひ直筆の資料に触れ、著者の思いを直に感じていただきたいと思います。会期は9月4日(日)までです。ご来館お待ちしております。

平成28年度長崎県読書グループ連絡協議会文化講演会 (共催事業)

6月16日(木)に諫早市立図書館の元副館長であり、現在は活水女子大学及び久留米大学で非常勤講師としてお勤めの二羽史裕氏をお迎えし、「絵本が与えてくれるもの」と題する文化講演会を開催しました。

聞く力を育てるためには赤ちゃんの頃からのことばを介したコミュニケーションが大事であり、乳幼児期に大人が絵本を読んで聞かせること、心のこもったことばをかけることで、子どもは本の楽しさを理解し、絵本から児童書の読書につながっていくとのこと。大人が子どもの本を読んで一緒に語り合うことで「心の家族旅行」ができるお話が印象的でした。

サン＝テグジュペリ作『星の王子さま』やミヒヤエル・エンデ作『モモ』などからの引用や、レオ・レオニ作『フレデリック』の読み語りなど、様々な例をとおしてわかりやすくご説明いただき、参加者は絵本についての理解を深めることができました。



県立長崎図書館「新任館長として」

親しまれる図書館を目指して

この4月に館長に就任いたしました石部邦昭でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

皆さまには平素より県立長崎図書館をご利用いただき、心から感謝いたします。

さて、インターネットやスマートフォン等の普及により、読書離れが進み、出版不況が続いています。特に昨今の若者の活字離れは、直近に高校・大学の教育に携わった者として実感・憂慮し、微力ながら読書の効用を説いてまいりました。読書は教養を高め思考力を養い、感性や創造力を磨くものだと言われています。その読書活動により、人は人生をより深く豊かに生きることが出来るのだと思います。本図書館は、皆さまから親しまれるとともに、皆さまの課題解決に資することができるよう、スタッフ一同真心込めてサービスに努めてまいります。



館長 石部 邦昭

本図書館は、115万冊を超える蔵書数（九州の県立図書館では2位）を誇り、図書の貸出、返却、レファレンスや県内公共図書館への支援などを日常業務としております。

他の図書館と異なる本図書館の最大の特徴は、市町立図書館への支援です。様々な環境にある市町立図書館を支援することで、県内どここの地域に住んでいても、近くの図書館に行けば、自分が読みたい本が手に入る仕組みを整えています。インターネットによるレファレンスサービス、巡回車での定期訪問、また離島地区への配送など、県内全ての市町立図書館とネットワークを結んで利便性の向上を図っています。

私も、この度すべての市町立図書館を訪問しましたが、どの図書館も、このシステムを積極的に活用され、また、利用者のために懸命に創意工夫と努力を重ねられていました。その熱心さに敬意を払うと共に、一層の連携と支援の充実を心に誓ったところです。

もう一つの県立図書館の特徴は、地域の文化を大事にし、保存する図書館であるということです。本県に関する貴重な地域資料、また、長崎県にゆかりのある多くの優れた作家の蔵書や資料、直筆の原稿や書などを大切に収集・保存すると共に、いろんな機会を利用して、皆さまに「本物」を見て頂く機会を設けたいと思っています。

また、本図書館が開催する各種講演会なども、内容を充実させながら実施してまいります。

今、本図書館を含め全国の図書館の運営やありようが大きく変わろうとしています。図書館が持つ本来の使命や役割を大事にし、不易と流行を慎重に見極めながら、鋭意変革してまいります。

皆さまのご来館を心からお待ちしております。

催し物のご案内

平成28年度「長崎ゆかりの文学展」

（第3回企画展）

「長崎の教会とキリスト教文学展」

期間：平成28年9月27日～12月25日

時間：9：30～17：00（ただし休館日を除く）

場所：県立長崎図書館 4階郷土資料展示室

第38回（平成28年度第2回）

県立長崎図書館講座

「遠藤周作・長崎・キリスト教文学」

講師：山根 道公 氏

（ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所教授）

日時：平成28年10月2日（日） 13：30～15：30

場所：県立長崎図書館 2階 講堂

シリーズ 県内図書館散歩 19

佐々町立図書館

【日本一明るく、親切な図書館】をめざして



佐々町立図書館は、１９９９年（平成１１年）４月１日に開館し、本年度で１８年目を迎えます。

佐々町は、約１万３千人の人口ですが、佐世保市のベッドタウンとして人口が増加傾向にあります。

当館は、蔵書数が約１２万冊で佐々町民だけでなく佐世保市、平戸市、松浦市の近郊からも利用していただき、年間の利用者数は約１３万人、貸出冊数は約１８万冊と一人当たりの貸出冊数はここ数年間、県内公共図書館として常に上位を占めています。

常日頃から館内の環境美化と利用しやすい雰囲気づくりを目的として、職員による四季折々の手作りによる装飾、

各月ごとに工夫した「特設コーナー」の設置、定期又は開館前の書籍の整理・整頓、毎月新刊本の購入と紹介・展示、明るい挨拶と優しい対応で利用者が長時間滞在してもくつろげるように心がけています。また、「ホームページ」「図書館だより」等の充実化を図り、最新の情報を提供できるように努めています。

図書館主催行事として「開館記念」「としょかんこどもまつり」「としょかん夏まつり」「としょかん文化まつり」「講座・講演会」を開催しています。また、年間約１５０回（３回／週）の読み聞かせ等の活動をいただいている佐々町立図書館「図書ボランティアの会」の会員、イベント時に伝承遊び（竹馬、竹とんぼ、水鉄砲等）の製作にご協力をいただいている「木彫クラブ」の皆様とも良好な協力体制を築いています。

今後とも、高齢者から幼児まで幅広い利用者が、気軽に来館できるよう職員一同誠心・誠意頑張っています。



障害者ふれあいブックメールサービスについて



身体的障害等のため図書館の利用が困難な方へ、郵送による資料の貸出を行っています。送料は県立長崎図書館が往復負担します。

登録申込書および添付書類の提出が必要ですので、詳しくは県立長崎図書館までお問い合わせください。

〈対象者〉

区 分	身体障害者手帳
両下肢、体幹、移動機能の障害、視覚障害	１級もしくは２級
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、免疫、肝臓の障害	１級から３級

障害者ふれあいブックメールサービス

送料は無料です。ただし、送料は郵送料のみで、送料は利用者負担です。

障害のため 図書館に来館できない方へ 本や雑誌の貸出をします。



長崎県立長崎図書館

資料紹介 《1964年東京オリンピックポスター》

今年2016年はオリンピックイヤーです。8月5日から21日までの17日間、ブラジルの都市リオデジャネイロでオリンピックが開催されます。

また次回大会は、2020年7月24日から8月9日まで、東京での開催が決定しています。

今から52年前の1964年、東京ではアジアで初めてのオリンピックが開催されました。その際広報用として、公式ポスターが4種類発行されました。デザインは亀倉雄策氏で、第2号ポスター以降は村越襄、早崎治の写真スタッフが協力しました。

「オリンピック東京大会／運営のあらまし」によれば、第1号から第3号までのポスターは各7万部発行され、第4号ポスターは5万部発行されたようです。

第1号ポスターは1961年に発表されました。デザインは大会エンブレムとしても使用され、第2号以降のポスターすべてに印刷されています。

第2号ポスターは1962年に発表。陸上競技のスタートダッシュの瞬間を捉えたもので、迫力ある写真がエンブレムとともに収められています。

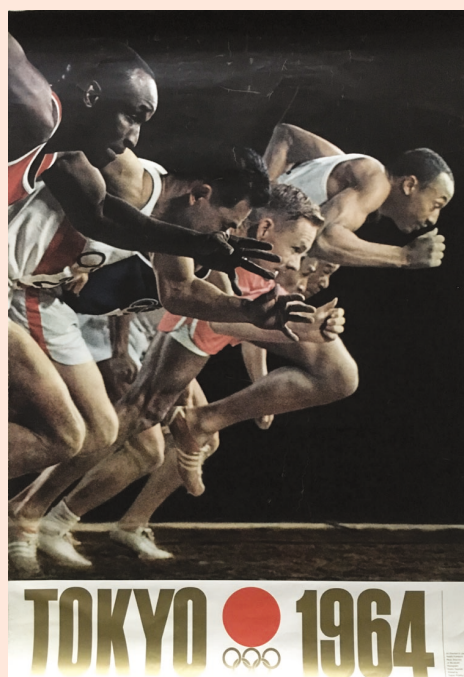
第3号ポスターは1963年に発表され、バタフライで泳ぐ水泳選手が題材となっています。

第4号ポスターは開催年である1964年の4月に発表。荒川の土手を走る聖火ランナーの写真が使われています。また第4号ポスターにのみ、オリンピックの会期が印刷されています。

当館では、この4種類のポスターを所蔵しており、館内での閲覧が可能です。また、1964年開催の東京オリンピック公式ハンドブックや、関連書籍等も所蔵しております。



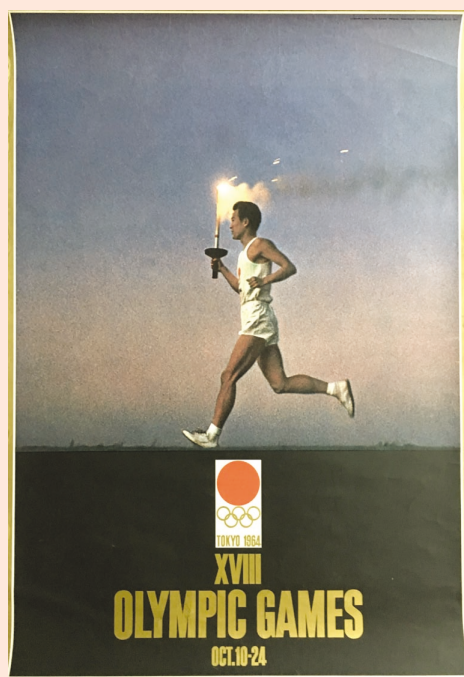
第1号ポスター



第2号ポスター



第3号ポスター



第4号ポスター

県立長崎図書館 アルバム ～フクロ～

写真とともに、県立図書館を紹介
します。今回は、図書館の外観や、
図書館から通じる道の写真です。図
書館を訪れたことのある方にも、新
たな発見があるかもしれません。



▲図書館は長崎公園に隣接し、たくさんの
樹木に囲まれています。正門の門扉前の
案内板では、休館日や催し物をお知らせ
しています。

▶正面玄関です。中庭には、紫陽花やつつ
じ、紅葉などが植えられ、四季を彩りま
す。また、県立図書館名の入った石碑の
裏には、創設の由来が記されています。



▲正門前の道以外にも、図書館の横から延びる小道
があります。立山防空壕へ続いています。



▲駐輪場横の階段はご存知ですか？下ると歴史文化
博物館へ繋がっています。